

第1号様式（第7条関係）

## 環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 市 長		平成29年7月26日
報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 大阪市北区中之島3丁目6番16号		報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） 関西電力株式会社 取締役社長 岩根 茂樹 電話06-6441-8821
京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。		
環境マネジメントシステムの名称	「独自のシステム」	
適用範囲	全社	
導入年月日	平成 10年4月27日	
認証番号	-	
基本方針	<p>関西電力グループでは、「関西電力グループ環境行動方針」の4つの柱を着実に推進し、グループ一体となって、持続可能な社会の構築に貢献します。</p> <p>《関西電力グループ環境行動方針》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 低炭素社会の実現に向けた挑戦</li> <li>2. 循環型社会の実現に向けた活動の展開</li> <li>3. 地域環境保全対策の推進</li> <li>4. 環境管理および環境コミュニケーションの推進</li> </ol>	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	<p>「関西電力グループ環境行動方針」に基づき、環境活動に関する目標を策定し、さまざまな取り組みを実施しています。</p> <p>《エコ・アクション（目標：地球温暖化対策に関連する主なものを抜粋）》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○安全を最優先とした原子力発電所の運転</li> <li>○火力発電所の熱効率の維持・向上</li> <li>○再生可能エネルギーの開発・普及</li> <li>○お客さま・社会のエネルギー利用高度化への貢献（スマートメーターの導入やエネルギーの見える化など）</li> </ul>	
目標を達成するための取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○安全を最優先とした原子力発電所の運転 新規基準に適合した対策を進め、プラントの速やかな再稼働を実現するとともに、規制の枠組みにとどまらないさらなる安全性向上対策を自主的かつ継続的に推進しています。</li> <li>○火力発電所の熱効率の維持・向上 火力発電所の熱効率の維持・向上によって化石燃料の使用量を節約し、CO2排出量の抑制に努めています。</li> <li>○再生可能エネルギーの開発・普及 太陽光や風力などの再生可能エネルギーの開発・普及にも積極的に取り組み、様々な電源をバランスよく活用することで、電気の低炭素化を進めています。</li> <li>○お客さま・社会のエネルギー利用高度化への貢献 ご家庭のお客さまに対して、お客さまのご要望に応じた省エネルギーコンサルティング活動や、インターネットを活用した電気ご使用状況やCO2排出量の見える化サービス「はびeみる電」のご紹介を実施するとともに、法人のお客さまに対して、最適なエネルギーシステムとその運用方法をご提案するなど、省エネ・省コスト・省CO2に貢献しています。</li> </ul>	
目標を達成するための取組の進捗状況	<p>《エコ・アクション(2016年度実績)》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○安全を最優先とした原子力発電所の運転 原子力規制委員会の審査への適切な対応を行うとともに、規制の枠組みにとどまらない安全対策を自主的かつ継続的に推進できています。</li> <li>○火力発電所の熱効率の維持・向上 既設火力発電所への対策を継続的に実行し、熱効率の維持・向上に努めております。 (参考) 火力総合熱効率47.6% (低位発熱量基準)</li> <li>○再生可能エネルギーの開発・普及 太陽光発電所等について、新たに2箇所を開発を行っています。 (参考) 朝来バイオマス発電所ほか 計7,580kW</li> <li>○お客さま・社会のエネルギー利用高度化への貢献 スマートメーターの導入を進めるとともに、「はびeみる電」の加入拡大を図っています。 (参考) はびeみる電加入件数累計203万件</li> </ul>	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	<p>持続可能な社会の構築に向け、火力発電所の熱効率維持・向上や再生可能エネルギーの開発・普及など、環境行動方針に沿った取り組みを進めることができました。</p>	
事業活動に係る法令の遵守の状況	<p>2016年度は、環境関連の法、条例、協定について、国、自治体などから指導、勧告、命令を受けた事例はありませんでした。 今後も、法・条例および環境保全協定の確実な遵守に努めてまいります。</p>	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	<p>環境問題への先進的な取り組みを部門横断的に推進するため、「CSR推進会議」の下部組織として「環境部会」を設置しています。平成27年度の環境部会において、環境方針に基づく環境管理活動に関するチェック・アンド・レビューおよび具体的行動計画（エコ・アクション）の策定等を実施しました。</p>	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。